

報道関係者各位

2019 年 5 月 31 日
シュナイダーエレクトリック

シュナイダーエレクトリック、製鉄記念室蘭病院のマシン室に モジュール型 UPS「Symmetra PX」をはじめとするソリューション 製品を導入

- 小型 UPS の集約・統合により管理負担の軽減
- 適切な電力配分による高い省エネ性も実現

エネルギーマネジメントおよびオートメーションにおけるデジタルトランスフォーメーションのリーダーであるシュナイダーエレクトリックは、社会医療法人製鉄記念室蘭病院（所在地：北海道室蘭市、理事長：松木 高雪、以下、製鉄記念室蘭病院）のマシン室に当社の無停電電源装置（UPS）「SymmetraTM PX」をはじめとするソリューション製品が導入されたことを発表しました。本ソリューション製品は 2018 年 9 月より本格運用を開始しています。

電子カルテシステムのリプレイスを控えていた製鉄記念室蘭病院では、同タイミングでのマシン室の新設を検討していました。従来のマシン室では小型 UPS が点在していたこともあり、機器の監視にも多くの時間が掛かっていました。また、台風などの自然災害に備え、BCP の必要性も高まっていました。

ソリューション製品導入によりマシン室の管理体制を簡素化

今回導入された「Symmetra PX」はモジュール型構成のため適性サイズに調整でき、また、運用を止めずに拡張することができるだけでなく、可用性と効率が非常に高い製品です。また、同時に導入したスイッチ付きのラックマウント PDU は高度な電力制御とアクティブなモニタリングと、個々のアウトレットのオン/オフ制御の遠隔操作を組み合わせることで、電力サイクリング、遅延電源逐次開閉制御、およびアウトレット使用管理を可能にします。

これらのソリューション製品を導入したことで、小型 UPS の集約による機器点数の削減だけでなく、UPS のエラーチェックに掛かる時間が大幅に削減され、管理にあたる職員の負担も軽減されました。また、昨年の北海道胆振東部地震の際には、製鉄記念室蘭病院でも電気が一時停電してしまうほどの被害がありましたが、非常用電源に切り替わるまでの時間を「Symmetra PX」で担保でき、BCP の面でも堅実な稼働を実現しました。

今後もシュナイダーエレクトリックでは、マシン室の安定運用、エネルギー効率化、運営効率化に貢献します。

詳細は、下記をご覧ください。

http://catalog.clubapc.jp/pdf/cr/muroran_hp_1902.pdf

Schneider Electricについて

シュナイダーエレクトリックは、ビル、データセンター、電力インフラ、工場に向けたエネルギー・マネジメントとオートメーションの「デジタルトランスフォーメーション」を推進しています。世界100か国以上で事業を展開し、低・高電圧およびセキュアパワーのエネルギー・マネジメントとオートメーションシステムの分野で名実ともに業界のリーダーです。エネルギー、オートメーション、ソフトウェアを組み合わせ、統合された効率化システムを提供します。

当社のグローバルなエコシステムの中で、当社のオープンプラットフォームを活用しさまざまな企業や開発者コミュニティと連携することで、リアルタイム管理や高効率な運用を実現します。私たちは当社をとりまく素晴らしい人々やパートナーに支えられ、そして技術革新・多様化・持続可能性へのコミットメントを通して、いつでも、どこでも、だれにでも「Life Is On」を実現します。

www.se.com/jp

2018年11月20日にWEBドメインを変更しました。

Discover Life Is On

Discover EcoStruxure

Hashtags: #EcoStruxure #LifeIsOn

Follow us on:

